

令和7年度第2回小牧市文化財保護審議会 会議録

日 時：令和8年2月12日（木）午前10時

場 所：小牧市役所 本庁舎3階 301会議室

出席者：（委 員）小野委員、西川委員、藤堂委員、中嶋委員、山田委員、村松委員、
兼子委員

（事務局）矢本教育部長、岩本教育部次長、武市文化財課長、長谷川課長補
佐兼文化財係長、浅野専門員、鈴木主事

傍聴者：1名

【事務局（武市）】 それでは、定刻となりましたので、ただいまより令和7年度第2回小牧市文化財保護審議会を開催いたします。

皆様におかれましては、本日は大変お忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございます。

会を始める前にご報告をいたします。

本日、増田委員、越川委員より欠席のご連絡をいただいております。

この会議は、小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき会議を公開としております。本日の傍聴者は1名です。

議事は音声録音し、議事録は発言内容、お名前とも小牧市のホームページにて公開しますので、ご承知おきください。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

次第の1、教育部長、矢本からご挨拶を申し上げます。

【矢本教育部長】 本日は、お忙しい中、小牧市文化財保護審議会にご出席をいただきまして、また日頃は本市の文化財保護行政にご支援をいただいておりますことに改めてお礼を申し上げます。

昨年7月に開催させていただきました第1回文化財保護審議会でご審議をいただきましたラピオ4階の市民ギャラリー跡地に開設を予定しております（仮称）小牧市歴史民俗資料展示施設につきましては、ご審議いただきました内容に基づきまして、令和8年8月の開館を目指して現在制作の作業を進めているところであります。

施設の名称につきましては、多くの子供たちに小牧の歴史を知っていただき郷土を育んでいただけるよう、親しみやすい名称として「こまき歴史発見館」とする予定でございます。こちらの名称につきましては、3月に開催予定の市議会にて審議がされ

ます設置管理条例の制定後に正式決定となりますので、よろしく願いいたします。

さて、本日の議題は、小牧市の教育振興基本計画に掲げた基本目標を達成するため、今年度に行いました文化財に関する取組の点検評価と来年度の重点施策について、また9年度から始まります第2次小牧市教育振興基本計画の策定に向けた施策内容についてご審議をいただきます。

また、既に委員の皆様にはメールにてご一報をさせていただいておりますが、令和7年12月12日に市指定天然記念物「小牧小学校校庭のクロマツ」の3本のうちの1本が強風の影響で倒木いたしました。この件につきましては後ほど担当者より詳しく説明をさせていただきますが、残りの2本につきましても幹の空洞化が進みまして倒木の可能性があることから、教育委員会といたしましては、非常に残念ではありますが小牧小学校とも協議の上、非常に残念ではありますが伐採せざるを得ないとの判断をしたところでございます。このため、市指定文化財の解除につきましても本日はご審議をいただきたいと思っております。

本日はご審議いただく事項が多くありますが、皆様より忌憚のないご意見がいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局（武市）】 続きます、次第の2、小野会長よりご挨拶いただきます。

【小野会長】 皆さん、おはようございます。

ここ何年も現地調査というのを継続して行ってきました。毎年新しい発見がありまして、小牧のこんな古いものが残っていたんだっていつも驚かされる場所があります。いよいよ来週現地調査がありますので、そちらも期待しています。これからも新しい文化財を発見して、小牧の魅力発信に協力していければと思っております。

本日は議題が多いと聞いておまして、そしていろいろ意見もいただきたいものですから少々時間がかかる見込みです。しかしながら2時間くらい以内には終わらせたいということですので、ぜひご協力いただければと思います。本日、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局（武市）】 ありがとうございます。

ここで新委員の紹介をさせていただきます。

令和7年8月20日より、池田委員に代わり山田委員に新たに加わっていただいております。

それでは、山田委員、一言ご挨拶をお願いいたします。

【山田委員】 皆さん、初めまして。山田諭といいます。

前任の池田さんの大学時代の後輩に当たりまして、私は名古屋市美術館が1988年に開館するその準備室で学芸員をして、学芸課長を務めた後、最後の5年間は京都市美術館の学芸課長を務めまして、今現在は美術史家ということで仕事をしています。

専門は日本の近代美術ですので、こういった文化財保護審議会委員が務まるかどうかと思いますが、今までの知識と経験を生かしてお役に立てればと思います。

自分の専門のところではいいと思いますと、今年はまだ昭和100年と言いますので、大正まではもう100年以上たったということになりますので、近代の文化財というものも射程に入れてもいいんじゃないかなというようなことを感じております。以上です。よろしくお願ひします。

【事務局（武市）】 ありがとうございます。

それでは、議事に移ります。ここからの進行は、小野会長、お願いいたします。

【小野会長】 それでは、次第の3. 議題に入ります。

議題の1. 令和7年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、事務局の説明を求めます。

【事務局（鈴木）】 それでは、議題1. 令和7年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価についてご説明させていただきます。

では、資料1をご覧ください。

文化財課、小牧山課では、令和7年度は4つの具体的な取組を設定し、事業を実施しております。その内容と達成状況、課題、今後の取組の方向性についてご説明させていただきます。

まず1ページ目ですが、施策33. 文化財の指定・保護であります。

達成状況については、来週2月17日に実施を予定しております市内現地調査の結果を受けて修正する予定でございますので、説明を省略させていただきます。

課題といたしましては、新たに保護すべき文化財の調査対象を広げていく必要があること、また指定候補物件には至らない文化財も保護していく必要があることを挙げております。

今後の取組の方向性としまして、文化財の歴史的価値の周知に努めることで文化財の保護・保存の必要性に対する市民の理解・関心を深め、新たな文化財の発掘につな

げていくことなどを挙げております。

続いて、2ページをお願いいたします。

2ページから5ページ、施策34. 古文書・歴史に関する講座等の開催であります。

内容につきましては、小牧市の歴史や文化財への興味・関心を高めるため、歴史や古文書に関する講座の開催をはじめ、文化財巡りや民俗資料の展示・解説などを行いました。

達成状況としましては、愛知文教大学への委託事業として、市制70周年記念講演を含む歴史や古文書に関する講座を計9講座、企画展を1回、文化財巡りを1回、また市内小・中学校の社会科教員を中心に構成される小牧市文化財資料研究会への委託事業といたしまして「こまき検定」を1回開催いたしました。

それぞれの催しの開催日、内容、受講者数などは以下に記載があるとおりでございます。

5ページ中段をご覧ください。

これらの課題といたしまして、古文書講座の受講者数は増加している一方で、歴史・文化基礎講座の受講者が固定化、減少する傾向にあることを挙げております。これを受けまして、今後の取組の方向性については、特に歴史・文化基礎講座などについて、若い世代を中心に新たな世代に興味・関心を持ってもらうきっかけとなるよう、テーマや講師、開催方法などについて見直しを図ることなどを挙げております。古文書講座や企画展につきましては、引き続き工夫して実施していきたいと考えております。

続きまして、6ページをお願いいたします。

施策35. 史跡小牧山主郭地区整備基本計画の推進であります。

令和7年度は、小牧山山頂の小牧山歴史館南東側におきまして、織田信長が築いた2段の石垣などの復元整備工事を行っており、3月末に完了する見込みでございます。

また、来訪者に対して史跡小牧山の歴史的価値を発信するため、CG解説動画の作成を行いました。

発掘調査では小牧山の南側中腹部の大手の登城路の構造などを明らかにするため、昨年度に引き続き発掘調査を実施しております。調査では、大手の登城路沿いの2か所で石垣を確認するなどいたしました。また、令和8年3月末で廃止となる小牧市青年の家の跡地及びその周辺の整備基本計画の策定を進めております。

7ページをご覧ください。

課題といたしまして、既に整備工事が完了した箇所石垣や岩盤につきましては、適切な維持管理措置を計画的に行っていく必要があることを挙げております。今後整

備を進めていく大手道エリアにつきましては、時代が異なる遺構が重なって確認をされていることから、調査結果を精査し、適切な整備計画の立案と施工を進める必要がございます。また、令和2年3月に策定をいたしました史跡小牧山保存活用計画につきまして、新たな知見や現状との相違を踏まえた見直しの必要を挙げております。

今後の取組の方向性といたしまして、大手道エリアや青年の家エリアの史跡整備に取り組むこと、既に整備が完了している箇所については、先進事例などを参考に石垣や岩盤などの適切な維持管理について検討することを挙げております。また、併せて史跡小牧山保存活用計画の自己点検や改定の検討を進めることを挙げております。

最後になりますが、8ページをご覧ください。

8ページから10ページ、施策35. 史跡小牧山の歴史的価値や魅力の啓発であります。

史跡小牧山の歴史的価値や魅力について、小牧山を来訪された方により理解していただけるよう、小牧山歴史館とれきしるこまきにおいて企画展を4回、講座・講演を5回、などを実施しております。

開催日、内容、参加者数などの詳細は、資料に記載があるとおりでございます。

なお、現在開催中並びに開催前の企画展や通年実施の体験事業など、参加者の総数が未確定な箇所につきましては黒丸での表記となっております。

課題といたしましては、アンケート調査では9割以上が市外からの来訪者であることから、幅広く情報発信をする必要があることなどを上げております。

今後の取組の方向性としては、SNSを活用した情報発信や現在放送中の大河ドラマ「豊臣兄弟！」に合わせた企画展示などの開催など、タイムリーな展示・イベントの実施について指定管理者と連携して実施していくことなどを挙げております。

説明は以上になります。

【小野会長】 事務局からの説明は終わりました。

では、各取組ごとに見ていきます。最初に、資料1ページの文化財の指定・保護についてご意見、ご質問をお願いいたします。

このページは現地調査などでいろいろやってきたところのことが書かれていますね。今後の課題としては神社仏閣以外の調査以外にも広げていこうとか、そうした場として文化財にならないものも保護していこうとか、そういったことが書いてありますが、このページで何かいかがでしょうか。

【西川委員】 ちょっといい。どういう形になるかはちょっと分からないんですけども、岩崎山の岩石を名古屋城築城のために使っていますよね。それに合わせて、小

牧には、例えば年貢橋もそうですし、刻文石も岩崎山にいっぱい残っているものと、それからその石を運んだときに原川で落とした、これが落城に関係するといけないからということで、それは落としたままで使わずにということで、これも原川の落とし石として市民会館のところに展示していますよね。こういうものをみんなひっくるめて名古屋城築城に関わるものとして、何かまとめて指定するとか、そういうようなことはほかに例はないんですかね。今はたまたま小牧では、そういうものを小牧らしいものとしてまとめて文化財性を考えたかどうかということをやちょっと思うんですけども、ほかの地区だとかそういう例は、例えば岩崎山だけを絞って指定するのだとちょっと色合いが薄くなるから、名古屋城築城に関わってこういうものがまとまって残っているんだということも小牧にとっては大事なことやないかなと思うんですけども、中嶋さん、どうですか、これ。

【中嶋委員】 でもこれとも直接関係ないですよ、そういう話は。そういう提案は別の機会というか、これからやっていく中で、例えば今指定になっていないものやっていきたいと思いますということで入れるのかどうか、具体的な話はちょっとここにそぐわないような気がするんですけど。

言われることはよく分かりますし、そのように一括でやるということもできないわけではないですけども、史跡に指定しようと思うと土地の問題が必ず絡みますし、いろんな制約は多いと思いますが、やる価値はあると思います。

【小野会長】 今後の指定の検討として、こういう点在するものが可能なのか。世界遺産とか、ああいったものはできるけれど、この市の指定ということでできるのかどうかというのは、ちょっと調べていただいたりしないといけないと思いますので、また今後の検討としてやっていきたいと思います。

【山田委員】 すみません、これ文化財の保護に関して時代的なこと、どこからどこまでを対象にしているのかというようなことは一言も書かれていませんが、基本的にはどういう考え方でいらっしゃるのでしょうか。

【事務局（浅野）】 指定に関しましては小牧市の文化財保護条例のほうに載ってございますが、特に何年たったらというような規定はございません。小牧市の歴史にとって重要なものということですので、そういった観点で指定をいただくということになります。以上です。

【山田委員】 考え方としてはそういうふうになっていると思うんですが、現在これまで一番新しいものとか、その辺りはどういうふうになっているんですか。

【事務局（浅野）】 現在、市の指定になっている文化財でまだ一番歴史が新しいのは、江戸時代の岸田家というものの指定がございます。それ以降の明治ですとか昭和の建物等につきましては、国の文化財に登録という形を取っております。以上です。

【小野会長】 最近では愛知県の登録制度というのもできました。県の登録も新しいところ、明治とかも登録になってきていますので、そういう提案があったらぜひお願いしたいというところですけども、市の指定というと、江戸というか古いところが多いかなという。そのジャンルによっても違いますよね、例えば仏像だったらもうちょっと古い時代からとか、古文書だったら江戸とかでも指定になるとか結構ありますけど、近代のということでしたら、ぜひそちらも提案いただければと思います。

ほかいかがでしょうか。

（挙手する者なし）

ここのページはこれでよろしいですかね。

それでは、次のページの2ページから5ページですね、古文書・歴史に関する講座の開催についてというところで、ここでご意見、ご質問いただけますでしょうか。

【中嶋委員】 じゃあ1つよろしいですか。昨年の資料と比べると、やはりちょっと減っている傾向、ちょっとマンネリ化してきているのかなあということは思います。ただ、こういうことは、これだけの数のいろんなものを行っている、小牧市ぐらいの規模でそんなにないと思います。ただ続けることがとても大事だと思います。いろいろ工夫しながら、ちょっと人数が減ったからやめるということではなくて継続していただきたいというふうに思います。

【小野会長】 ありがとうございます。

そうですね、これだけの種類やっていただいて、人数も結構来ている、少ないとはいえ来ているように思いますので、続けていくことが大事かなと。

あと、もう少し若い世代にもということでしたけれども、それについてもどうなんですかね、何かもうちょっと発信の仕方とか、多分今、広報とかああいうものよりもSNSみたいなもので発信するとか、何か発信の仕方であるとか、そういうもの

もちょっと工夫ができるのかなとも思いました。

ほかに、こんなこと課題に入りたいとか何かございますでしょうか。

(挙手する者なし)

そうしましたら、次の6ページから7ページに進んでいきたいと思います。

あとは史跡小牧山主郭地区整備基本計画の推進についてですね、このところでご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

【中嶋委員】 小牧山の専門委員をやっていますので、先日、発掘現場を見てほしいということで小牧山に登ってきました。整備が山頂周りの石垣はほぼこれで完成ですよ。まあすごい迫力です。ちょっと頭の中では分かっていたんですが、実際に組み上がったものを実際に見ると、やはりちょっと感動しました。

それで、そういうものをこれからもっと使って、これはかなりインパクトのある仕事ができたとしますので、もっと活用する方法をいろいろ考えていただくといいのかなあということを強く思いました。

【小野会長】 ありがとうございます。

感動的なものができたというふうに大人でも感動するようなものですから、ますます発信して常にそういうことをやっていくと良いですけども、ほかに何か課題とか、それから取組とか、ここプラスしたほうがいいよというのはございますか。

【山田委員】 そのまま今日の会議で役に立つ話かどうかは知りませんが、私は、石垣ができて、すごいスケールが大きくて感動したと仰られたことから連想した話です。昔仕事でメキシコに出張したことがあります。そのときにメキシコの遺跡にも行ったんですね。メキシコの遺跡だと、マヤ、アステカのピラミッドとかいっぱいあるじゃないですか、そこでナイトショーをやるんですよ、石垣とかにいろいろ映して。それで、過去、マヤ、アステカの文化がこうだったか、それでスペインが来て滅ぼされたみたいな、そういう20分30分ぐらいのショーですかね、何かそういう遺跡に投影するみたいなことも含めてそういうショーをやっていました。それはもう明らかに世界から来る観光客のためはかなり大規模につくられたものだと思います。

それで、メキシコには遺跡がいっぱいあっていろんな遺跡で同じようなことをやっているみたいなんですけれども、そういう若い人向けだとするならば、そういう一大イベントみたいなことをやるのも一つの手じゃないかなあというのを連想しました。これをやったらどうですかと言っているわけではなくて、そういうことも考えられる

なというような。

【小野会長】 はい、ありがとうございます。

夏休みとか、夜とか、何かショーみたいなものができるのであれば親しんでもらって、ちょっと歴史を深めながらまた楽しんでもらうみたいなイベントがあるとまたいいのかなというふうにも思いますね。

【山田委員】 花火上げたらみんな来ますよ。

【小野会長】 これから桜が咲いたら、それから花火とか上げると来ますよね、花火とそのショーとか一緒にやって。確かに。

子どもたちも小牧山に何度も足を運んで楽しい思い出、そういうのも大事な郷土愛みたいなものにつながると思うので、また新しいことも少し考えていただければと思います。

ほかいかがでしょうか。

【西川委員】 市役所の前というのは使えないの、いろんなイベントをやるのに上まで上がってもらうのは難しいんだよね、だから、ここの前の土塁を家康が変えたように見てもらうようにしたんだけど、ここの見方によっては、その土塁の前面のところのあそこは広場になっているんだよね、その広場に皆さんを集めて例えば今言われたようなプロジェクションマッピングみたいなもの、例えばそのイベントのときだけスクリーン的な壁をちょこっと臨時に立てるだとか。もし立てていいならば、あそこの広場をそのイベントのときに使って、ちょっとマッピングの投影するスペースに使えないかなということちょっと思っただけですけども。僕もローマなんかへ行くと史跡に投影するやつがいっぱいあるんだわね。それでまちじゅうそういうものがあって、やっぱり観光客はたまたま通ったときに、あっ、今日はこういうのをやっているんだなということが分かるんだけど、でも、小牧山はそんな、しょっちゅう来てどうのこうのということはないもんで、イベントを、例えばこの日にこういうのをやりますということPRしておけば、そういうのに合わせて、小牧山だとか小牧だとか、そういうものに関するものを映像で見せるとか、そういうようなものとして使えないかなということちょっと思っただけですけども。

やっぱり小牧山はいつも思うけど、小牧山そのものは市民にとってもいろんな意味でやっぱりシンボリックな山だから小牧山を有効活用したいんだけど、やっぱり上へ上

がるのは非常に大変だから、かといって自由に上がって行ってくださいということとはできないから結構難しいんですけども、そういう意味で、上がらずにもできるものとしてそこを使えないかなということをちょっと思いました。すみません。

【小野会長】 ありがとうございます。ほかいかがですか。

(挙手する者なし)

よろしいですか。では続いて、今度8ページから10ページに行きたいと思います。

史跡小牧山の歴史的価値や魅力の啓発について、このところでご意見、ご質問をお願いいたします。

【山田委員】 小牧市の小学校とか中学校の生徒さんたちというのは、必ず小牧山には登ったことがあるんでしょうか。

【事務局（武市）】 授業の中で必ず登るということではございませんが、校外学習の中で主に3年生とか4年生の方が多いかと思いますけれども、小牧山のほうに来訪いただいている状況であります。

【山田委員】 まあ一度は登ってみたいという感じだと思うので、何か登るそういうきっかけみたいなのをつくれればいいわけなんですけど、これも私的なことなんですが、私の孫娘が行っていた幼稚園が毎年、岐阜城のある金華山に登るんですよね。親子で登るというイベントを毎年1回やっていて、だから、うちの孫娘は3回ほど金華山に登っているわけですよ、自分の足で。多分そうすると忘れないと思うんですよね。そうだろうなと僕は思っていて、小牧山も同じことなんじゃないかなという気はしないこともないです、市内に住んでいる子どもにとってみればね。だから、小牧山に登るということ自体のイベントがあってもいいのかなと思います。

【小野会長】 一回切りということではなくて何回か登ったりしていないですか。そうでもないですか。

【藤堂委員】 兼子先生、遠足に今でも行っていますか。

【兼子委員】 校外学習で行きますし、上の歴史館に行って、帰りにれきしるこまきにも寄ってというのは定番です。

【小野会長】 あと、多分花の時期にも家族で行ったりとかないんですかね、近くて。

【西川委員】 なくなったやつもあるね。早駆けマラソンだったか、それは毎年結構な子どもたちが参加していたんだけど、途中からなしになったね。

【小野会長】 何かイベントが増えていくといいかもしれませんね。

【山田委員】 何か文化財を見せるというよりも、まず小牧山に親しむために登るといふ、そういうイベントでいいんじゃないかなという気がしないこともないです。

【中嶋委員】 どちらかという、子どもたちよりも大人で登ったことがないという人が結構います。

【山田委員】 子どものときに登れば大人になっても登るはずだと僕は思っています。

【中嶋委員】 そういう話はよく聞きます。

【山田委員】 だから、今さら大人を登らせようというのは大変かもしれないけど、子供のときから登っていれば。小牧山の上からしか見られない場所とか見られないものみたいなのを。

【小野会長】 そうですね、下から見上げるんだったらこういうふうに見えるけど、登った景色とか、登って何かあると良いかもしれないですね。

【中嶋委員】 本当は夜景がすごくいいですよ。私、昔担当していた頃に、工事で夜遅くなって歴史館まで行っていた。外を見ますと本当にすばらしかった。ただ、簡単に今登るのが大変だという話がありました。夜登るのは、今のところ照明の問題とかいろんなものがあって難しいので、なかなか。時々やっているのかな、今でも。

【小野会長】 何か夜景見ようとかって楽しいかもしれないけど、いくつかの課題があるから、それをクリアできるのかというのがありますけど。

【中嶋委員】 夜景でなくても十分尾張平野を一望できますので、信長の気分になれるということ。

【山田委員】 そうですね、岐阜城の上から見下ろすと、本当にここから京都を見ていたに違いないと思うような景色ですもんね。

【小野会長】 ということで、いろいろまだ考えられそうなところはありますが、10ページの課題とか今後の方向性とかですね、このところはよろしいでしょうか。

(挙手する者なし)

特によろしければ、もう次に早速行きたいと思います。

今度は、じゃあ議題の2ですね、令和8年度教育委員会基本方針重点施策について、事務局の説明を求めます。

【事務局（鈴木）】 それでは続きまして、議題の2、令和8年度教育委員会基本方針重点施策につきましてご説明させていただきます。

資料2をご覧ください。

令和8年度の文化財課、小牧山課の重点施策につきましては、以下の4点となります。

施策33につきましては、具体的な取組、内容とも令和7年度変更はございません。

施策34につきましては、（仮称）歴史民俗資料展示施設の整備としております。

令和5年度の小牧市歴史館のリニューアルに伴い、小牧市歴史館に代わって小牧市内の歴史や文化財について紹介する展示施設をラピオ4階の市民ギャラリー跡地に整備をいたします。現在、展示制作を進めているところでございまして、今年の8月の開館を目指しております。

施策35のうち、史跡小牧山主郭地区整備基本計画の推進につきましては、大手道の発掘調査の成果を基に、整備のための基本計画を策定いたします。

また、小牧市青年の家跡地につきまして、今年度策定予定の整備基本計画に基づき、基本設計を行ってまいります。

同じく施策35の史跡小牧山の歴史的価値や魅力の啓発につきましては、先ほど議題の1の説明にもありましたとおり、現在放送中の大河ドラマ「豊臣兄弟！」に合わせた企画展示の開催など、タイムリーな展示・イベントの実施ですとか、SNSを活用したさらなる情報発信に努めてまいります。

議題2の説明は以上となります。

【小野会長】 事務局からの説明は終わりました。

それでは、具体的な取組に対する内容につきましてご意見、ご質問をお願いいたします。

いかがでしょうか、この内容でよろしいでしょうか。いいですか。特にないようでしたら、この計画書の内容で承認いただけたということで一旦進めてまいります。

(挙手する者なし)

内容については特に問題ないということで、このまま承認いただけたということで進めていきたいと思っております。

【藤堂委員】 すみません、青年の家の跡地は具体的には何か構想があるんですか。ないですか。検討中ですか。

【事務局（浅野）】 現在、来年度なんですけど、小牧市青年の家が取り壊しをされる予定をしております。その跡地の整備ということで、現在、創垂館を含めてその周辺の整備の基本計画を策定しておりますので、その中でいろいろ議論をしていただきながら作成しているところですので、まだ今完成というふうに至っておりませんが、基本的には史跡を元に戻すというのが第一前提といたしまして、青年の家が建てられる以前の姿、創垂館はあの場所で今後も活用していくという方針は決まっておりますので、それ以外の部分につきましては、基本的には史跡を元に戻すという基本的な考えに基づきながら整備を進めていくということに今計画をつくっている最中でございます。以上です。

【藤堂委員】 創垂館は、一つぽつとあそこに残っちゃうの。なかなかその活用も難しいですね。

【小野会長】 それでは、議題の3. 第2次小牧市教育振興基本計画の策定について事務局の説明を求めます。

【事務局（長谷川）】 こちらの小牧市教育振興基本計画でありますけど、現在は平成29年度から令和8年度の10年間を計画期間といたしまして策定をしております。これの次期計画になりますが、令和9年度から10年間の第2次小牧市教育振興基本計画の策定に当たりまして、その計画の作成資料とするために、本日もご提出いたしました資

料ですが、様式1、様式2といたしまして、次期計画に盛り込む必要性のある現状と課題などを記載した資料となっております。

本日、委員の皆様にご確認、ご承認いただきまして、今後の小牧市教育振興基本計画推進会議に計画案を諮りまして最終案を作成し、令和9年3月に教育委員会の議決を経て作成する予定のものであります。

様式1につきましては、事業評価及び今後の方向性といたしまして、①の基本目標から真ん中の評価までがこれまでの評価、それ以降が次期計画に盛り込む内容となっております。

評価につきましては、Aが計画どおり実施できた。以下、記載のとおりであります。

今後の方向性につきましては、1が拡大・改善、2が現状維持、以下、3、4、5となっております。

こちらですが、先ほどの点検評価のシートでもご説明しており重複するところもございますので、一部省略して説明いたします。

ナンバー178から180まで、こちら施策33に関することといたしまして、新たに保護すべき文化財や古文書等を見い出す調査を行って指定・保護を努めますですとか、179として埋蔵文化財の調査・記録保存、180といたしまして市指定文化財所有者等が抱える管理の問題、課題の把握に努めまして、文化財の修理などに必要な助成を行っていきます。

こちら3点につきましては、方向性としては現状維持となっております。

では、次のページをお願いします。

施策34についてであります。

こちらの内容になりますが、2段目の文化財啓発イベントの開催につきまして縮小となっております。こちらは小牧市文化財資料研究会に委託している事業でございまして、こちらが市内の小・中学校の教員の方で組織されている組織でありまして、事務の負担等が生じているということが問題となっております。こちらの中でこまき検定という事業を実施しておりまして、こちら毎年各1回の開催を行ってきております。こちらを見直すこととして周年事業としていきたいと考えておりますので縮小となっております。ただ今後、こまき歴史発見館、担当事務の中に設置予定でございまして、こちらの中でこまき検定に代わるもの、何かそういったものを活用して子どもたちがチャレンジできるようなものもまた考えていきたいと考えております。

ナンバー184ですが、文化財の紹介といたしまして、今後はデジタル化を進めてまいりますと考えております。

続きまして、次のページをお願いします。

施策35の史跡小牧山の整備・活用についてであります。

こちらですが、一覧の中で具体的な方向性といたしまして、史跡小牧山保存活用計画の見直しを考えていきたいと考えております。

ナンバー186の2行目になりますが、こちらの内容といたしましては、小牧山歴史館や小牧山城史跡情報館の運営について、展示改修をはじめ、企画展、講座、ワークショップなどを行ってまいりたいと考えております。

ナンバー187ですが、関係機関との連携ということで、内容といたしましては、小牧市観光協会や織田信長、小牧・長久手の戦いにゆかりのある他市町など関係機関との連携を広げていきたいと考えております。

続きまして、次のページをお願いします。

ナンバー189になります。こちらの文化財の啓発イベントに関することですが、こちら小牧市文化財資料研究会に関することですので省略いたします。

次のページの190から194になります。

ナンバー190であります。こちらは地域の伝統文化・伝統芸能の継承・保存についてですが、内容といたしましては、今後ホームページやSNSをはじめ様々な手段で周知を図っていきたいと考えております。

続きまして、ナンバー193になりますが、こちらですが、市内に残る古文書の調査は終えておりますので、新たに探すことは困難となっている状況であります。古文書のデジタルデータ化に着手していきたいと考えております。

以上の説明になります。よろしく願いいたします。

【小野会長】 事務局からの説明はこれで終わりですかね。

それでは、内容につきましてご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

【中嶋委員】 いいですか、1つ苦情を言います。

これだけの資料を当日配付で審議しろというのは非常にどうかと思います。事前にもらわなくてこんな、これだけのものをこの場で審議しろと言われても難しいですね。説明を聞いてもよく分からなかったもので、どうしましょう。

【小野会長】 確かにちょっと文章量が多いので、事前にいただいたほうが多分よかったんだろうと思いますけど、準備に時間がかかったんでしょうか。

【藤堂委員】 でも、まあ内容は従来の踏襲という感じが多いように思いましたので。

【山田委員】 逆に変更点を少しずつかいつまんで言ってもらえば。

【中嶋委員】 特に縮小方向のものについてはしっかり説明してもらわんとよく分からんですね。

【事務局（武市）】 これだけの資料を当日配付となり大変申し訳ございません。

今、藤堂委員からもお話をいただきましたように、これまで毎年点検評価ということで皆様にご確認をしていただきながら進めていただきました事業の総括ということで、現状と課題ということで記載をさせていただいております。今、中嶋委員からもお話がありましたように、縮小するものは大きく2点ございます。

まず一点目が基本目標の施策34. 歴史・文化財・生活文化についての啓発・活用、ナンバー182番ですね、文化財に関して、歴史・文化財・生活文化についての啓発・活用、こちらを文化財啓発イベントの開催ということで、内容といたしまして、小・中学生を対象に小牧の歴史や文化をテーマとした検定や講座を行ったりするなど、郷土への誇りや愛着を高めますという内容で行っております。こちらにつきましては、主に小牧市文化財資料研究会に委託をして、こまき検定といたしまして小牧のいろんな歴史や地理等を題材にした問題に取り組んでいただく事業を過去10年間行ってきたところであります。

また、様々な地域に残ります歴史的な資料を研究していただいたものを書籍として作成をしていただく、発行していただくというような事業をこれまで行ってまいりました。こちらにつきましては、先ほど申し上げましたように、市内の小・中学校の教員で組織をする会でございまして、かなり先生方の負担が生じているという状況がございます。

こういったことを見直しいたしまして、今後、こまき歴史発見館がラピオの4階に開設をしていく予定でございますので、こういったところを活用して、ここを拠点に、そういった子どもたちが郷土の歴史を学べる場として活用していくということで、この事業については一旦縮小したいというふうに考えております。こちらの事業が189ですね、施策36. 地域資源を生かしたふるさと学習の推進、こちらの事業を同一再掲の事業となっておりますので、こちらのほうも同じような内容となっております。

もう一点が、193番になります。4ページ、施策37. 市民との協働や大学と連携した歴史・文化の継承活動の展開ということで、こちらが古文書の調査や民俗資料の整理の実施を具体的な取組としまして、大学など専門機関の技術やノウハウを活用して、

古文書の調査や民俗資料の整理を行います。また、古文書についてデジタルデータ化するなど、後世に伝える方策を検討しますという目標の下行ってまいりました。こちらは主には愛知文教大学に委託をしまして、古文書の調査や民俗資料の整理、データ化に取り組んでまいったところであります。

これまでに民俗資料の整理とデータ化については終えまして、あと古文書につきましては、市内に残る古文書の調査は一旦終えているということで、なかなかデジタルデータ化にするような古文書のほうについては資料が得られていないというところで、今後行わないということではございませんが、一旦そういった資料が得られた場合に引き続き調査を行っていくということで、次回の計画には掲載しないということにしております。

少し今ちょっと確認をしております、この方向性というところで、1、2、3、4という記載する欄がございますが、継続のものも少し見直し、縮小という記載がございます、一部また修正をさせていただきたいと思っております。説明は以上です。

【小野会長】 ありがとうございます。

ちょっと今、縮小するというか次期の計画に掲載しないもの3点というふうに説明していただきました。いかがでしょうか。

【山田委員】 方向性が③についているのが縮小だということですね。

【中嶋委員】 190の説明がなかったんですけど。

【事務局（武市）】 すみません、方向性が「③縮小」となっておりますが、こちら右端見ていただきますと掲載するになっておりまして、これは先ほど申し上げました番号に相違があるものでございます。こちら修正です。「②現状維持」に修正をお願いします。

【山田委員】 いいですか、193の市内に残る古文書の調査は終えておると言い切っていますが、大体終えているんですか。

【藤堂委員】 終えていません。実は課題があつて、今日も浅野さんをお願いしたんですけど、一番の課題は、岸田家の文書が随分残っていますけど、いろいろあつてなかなか進まないです。だから、ぜひといって先ほどもお願いをしていました。だから、

終わったんじゃないなくて、これからまだ課題がいっぱいあるということです。

【中嶋委員】 調査することが困難だというぐらいの表現にしたほうがいいんじゃないですかね、事情は書けないだろうから。

【事務局（浅野）】 ちょっと補足ですが、193の先ほどの古文書の調査や民俗資料の整理の実施のところの、④現状と課題のところ、先ほど「市内に残る古文書の調査を終えており」ということで、調査を終えていないよというお声をいただきましたが、ちょっと言葉が足りなくて申し訳ありません。市内に残る古文書がどこにどんなものがあるかというような調査は終えている。ただ、個々の古文書について、どう書いてあるとかどんなものかという内容分析等を含めた調査は終えておりません。すみません、こちらちょっと表記が不足しておりましたので、補足させていただきます。

【山田委員】 古文書がある程度もう進んでいるということでありましたら、小牧市がどういうふうに行っているのか僕は全然知らないからあれなんですけど、最近、僕は近代が専門だと言いましたけれども、近代におけるそういう文書の代わりになるものというのは写真だと思うんですよね。だから、近代の本当に明治、大正、本当に昭和の初め、戦前期に小牧を写した写真というのはすごい貴重な資料になると思うので、その辺りはかなり意識して探し始めないと本当になくなってしまう可能性があると思うので、そういう観点を何か付け加えたほうがいいんじゃないかなというふうに個人的には思っています。

【小野会長】 ありがとうございます。

その頃の古写真だったらまだ眠っている。だけど、それが重要視されずに代が替わって捨てられちゃうというのが危険の高いところですので、その辺りも小牧の歴史をよく写しているようなものについてはちょっと意識していく必要がありますね。だから、現地調査のときも、古文書とか仏像とかだけではなくて、古い写真とか、そういうものも意識しながらやっていく必要があるんでしょうし、あと呼びかけとかもいいかもしれませんね。

広報で呼びかけて、古い写真で小牧らしいものがあったら、あるいは寄贈してくださいとか、そういうこともいいかなと。

【山田委員】 写真は結構プライベートなものなんで、パブリックに役に立つとは誰

もあまり思わない、持っている人たちは。だけど、プライベートに撮られたものでも背景に写っているもので価値があるということはいくらでもあるので、その辺りのことをちょっと意識啓発して収集するということが重要なんじゃないかなと思います。

【藤堂委員】 今大変大切なことを言ってくださいましたけど、実は西川先生と舟橋写真館という小牧の古い写真館があって、そこが古い小牧の写真をたくさん保存されておったんですね。

【西川委員】 以前は、舟橋写真館の写真が本当は市のほうで委託を受けて引き受ける予定だったんだよね。だけど、途中から何か個人のマニアの手にもう行っちゃったんだよね。だから、もちろんそれを所有者は今個人的に誰か持っていると思うけど、それをお借りするようなものとしては使えないかどうかという。僕もフナハシ写真館でわーっといろんな写真があって、小牧山が例えば伊勢湾台風で丸坊主になったときの写真とか、そういうのがいっぱいあるんだけど、それを今としては市にどうのこうのは無理だけれども、誰が所有していて、それを今度こういうのに使いたいからお借りしたいというような手続は可能かどうかというようなことをちょっと思うんだけど。

【山田委員】 それも含めて、本当に市民の中に眠っているものはまだいっぱいあるんじゃないかと思うので、だからその辺もちょっと意識する必要があるんじゃないかなというふうに思います。

【小野会長】 それはもっともでした。もっともだと思います。

【兼子委員】 関連していいですか。東部地区の小・中学校が再編される予定になっていて、うち篠岡小学校なんですけれども、藤岡先生に頼まれてちょっと捜し物をしたときに、大正時代の学校日誌とかそういうのが出てきたんですね。ここの棚は絶対にあるものは捨てちゃ駄目だよと言われているところがあって、その棚はちょっと怖くてまだ見ていないです。紙なのでほろほろとなったら怖いなと思って見ていないんですけど、そういうのも再編されたらどうなっちゃうのかなあというのはすごく心配してしまっていて、その辺のところもちょっと気にしていただけるとありがたいです。

【山田委員】 学校のそういう公文書というのはすごい重要だと思いますね、歴史研

究として。

【兼子委員】 これドラマというような卒業写真とか、みんな和服を着て学生帽をかぶっているやつとか写真とかもいっぱいあったりして、おおーって感じなので、よかったら見に来てください。

【山田委員】 あと学校関係でいくと、学校に結構校長室とか絵画が飾ってあるでしょう。ああいうものというのは、実は卒業生なり、あるいはそれなりに画家になった関連した人が入れたものが結構多いと思うんだけど、実は超有名になった画家に関しては美術館に入っています。だけど、そこまで有名にならなくても、今でいう日展、昔の文展とか帝展に1回2回入選したぐらいのそういう画家の作品というのが学校に残っていることが時々あるんですよ。

だから、そういう意味でいうと、学校にかかっている絵というのを単なる家具とかと一緒に備品だと思って捨ててしまうというのは大問題なんで、はっきり言って僕、京都市美術館にいましたけれども、京都の学校なんかだと上村松園の作品とかがあったりするんですよ。だから、そういう意味で市内の学校にある絵画というものに関しては、少し意識的にリストだけでも作る必要があると。

【小野会長】 ありがとうございます。確かに何か言われてみると、そんなに有名にならずに地元で描いて少し活躍したぐらいの人たちが眠っているというのがあるのかなと思いますので、その辺も目を光らせていただければと思います。

【中嶋委員】 ちょっとよろしいですか。ずっと私が市役所へ入る前ぐらいの話なんですけど、昭和50年ぐらいに広報が市史を作っているんですよ。そのときに古写真をみんな集めた。まあ使えるものは使って、もうそれはみんな多分返しちゃったと思うんです。それ以降が、市史の編纂が教育委員会じゃなかったんで、きちんと全部引き継いでもいないところもあって、その辺りはちょっと残念だったかなあとと思います。

あと前に、ここにこの審議会委員だった入谷先生は古写真を使ったものを作っているんです。そのときにもいろいろ探されている。何度かそういうことは呼びかけされているんですけどね。ただ、その後の管理がしっかりできているかという、ちょっとどうかなという。

【小野会長】 今だと、お借りしてデジタル化すれば簡単に保存ができちゃうので、

お返しできるし、もともとのものは。

【山田委員】 まあ、ただプリントはプリントで重要なんで、本当に寄贈してもらうのが一番いいと思います。基本的にはもう寄贈してくださいです。どうしても返してほしいと言われたら撮っていいですかだし、どうしても返してほしいといっても、その代の人がそう思っているだけで次の人はそうは思わないんで、いずれは寄贈してくださいというふうに、もう物として残すということが大事だと思います。イメージさえ残っていればいいという発想は違うと思います。

【小野会長】 そうしたら、やっぱり広報とかで古写真を集めていますというので、どのぐらい来るものなのか。何でもかんでもというんじゃなくて、何か背景が写っていたり歴史を語るような、分かりづらいけど、とにかくどのぐらい反応があるのかが分からないので、そういうところからちょっと一歩一歩始めていったら。

【山田委員】 何らかの理由があって集めていますと言ったほうがいいから、本当に何十周年の小牧の何か歴史みたいなものをまとめたいです、写真集作りたいですというのを立ち上げて、それで集めていますと言ったほうが反応はいいです。

【小野会長】 そうですね、確かにそうですね。実際に作ったっていいぐらいですもんね。

【事務局（長谷川）】 様式2のほうのご説明をいたします。

一番最後のページになりますが、様式2といたしまして、今後10年を見据えた取組になっております。

こちら現計画にはない事項で次期計画に新たに取り組むべき内容となっております。

こちら2点大きくございまして、1点目が②の具体的な取組名となっておりますが、小牧山の適切な維持管理と併せてこまき歴史発見館の周知・活用となっております。

1点目の小牧山についてですが、現状の課題といたしまして、小牧山の整備は平成13年度から開始しておりまして、整備済みの箇所に劣化が見られております。

2点目につきまして、整備が進むにつれ、維持管理等に係る業務が増加しております。

3点目ですが、小牧山の北側の沿道ですが、通称五段坂と呼んでおります。こちらが未整備の沿道であります。こちら大雨等で土が流れたりしておりまして、随時補修

を行う必要性があります。

4点目ですが、小牧山は伊勢湾台風以降、桜をはじめとして多くの樹木が植樹され、現在は巨木化、老木化が進んでおり、落枝・倒木が相次いでおります。こういった問題点に対応するために、伐採ですとか老木化した桜の更新などを行っていく必要があります。

5点目ですが、小牧山の利用者のマナーの問題ですが、ごみのポイ捨てですとか動物の餌やりなどルールを守らない方が増加しておることが見受けられます。そういったことの課題がございます。

小牧山に関してですが、③の内容といたしまして、整備済みエリアについて適切な維持管理を行っていきます。また、小牧山を訪れる方が利用できるように老朽化した施設や園路の修繕を行うとともに、巨木化、老木化した樹木の維持管理に努めます。

3点目ですが、史跡小牧山の来訪者が快適で安心・安全に利用できるよう、ルールのさらなる周知や管理体制の整備に努めます。

基本目標といたしましては、基本目標の8といたしまして、新規の施策といたしまして、⑤として史跡小牧山の維持・管理であります。

2行目ではありますが、こちらのこまき歴史発見館の周知・活用です。

こちらの①の現状と課題ですが、ラピオ4階に新たに整備するこまき歴史発見館が商業施設でありまして、比較的、こちら4階に整備することになっておりますが、人通りが少なく場所も分かりにくい位置にあります。市内唯一の市の通史を紹介する展示施設でありますので、多くの方にPRし、活用を図っていく必要があります。

③の内容であります。こちらは小牧山歴史館や小牧山城史跡情報館と相互に連携して多くの方に来館していただけるように市内外に周知を図っていきます。

こちらの基本目標としましては、基本目標8でありまして、⑤の施策につきましては、施策34. 歴史・文化財・生活文化についての啓発・活用に入れていきたいと考えております。以上になります。

【小野会長】 ありがとうございます。この様式2につきまして、何かご意見等ございますでしょうか。よろしいですか。

【中嶋委員】 すみません、ちょっと前へ戻っていいですか。小牧市文化財資料研究会が今後どういうふうを考えていくのか、先生がいる前であれなんですけど。昔からそうなんですけど、小・中学校の社会科の先生たちにやってもらっているんで、当然負担は大きいんです。西川先生もやられていたし、みなさんそうで。

今、教員の働き方改革とかいろんなことがある中で、今後も続けていくのは難しいということで縮小しようというのはすごく理解できます。どの程度まで仕事をやめるのかなあということ。例えば、文化財の図書を発行していたけどこういうのをやめよう、検定は毎年やっていたけどこれは周年事業にしよう、そういうふうに縮小するんですかね、その辺りの考え方を少し教えていただけるとありがたいなと思います。

【事務局（武市）】 今後の活動方針につきましては、まだ検討中のところがございますけれども、このこまき歴史発見館を訪れていただいた方にチャレンジシート、ワークシートのような形でクイズを解いていただくようなものを常設していきたいということ。

それから、そういったように今まで広く題材をフィールドワークで集めてきてずっと継続していくというのかなり負担というところでございますので、今のワークシートを作成するに当たって必要な題材を取材するなど行い、規模を縮小しながらここを拠点に活動を継続していくというような計画を立てております。以上です。

【中嶋委員】 こういう冊子はもう発刊しないよということですね。

【事務局（武市）】 そうですね、今までですと二、三年に1冊ずつということでやっていたんですけれども、そういったペースでは非常に難しいというふうに思います。

【小野会長】 ありがとうございます。ほかにご意見、ご質問いかがでしょうか。

【山田委員】 すみません、こまき検定というものの自体を僕はよく分からないんですけれども、どういう形式でどういうふうにするんですか。

【事務局（武市）】 こまき検定は、毎年文化の日に開催するということで、小・中学生を対象に小牧にまつわる問題30問で正解をある程度越えたと合格ということで表彰するなどしています。

事前に問題をホームページのほうに掲載させていただきまして、事前にその子供たちが試験に備えて学習してきて、当日、その事前に掲載したものの中から30問、問題として出題して受けていただくというものです。

【山田委員】 それは、人数はどれぐらい集まっていたんですか。

【事務局（武市）】 これが一応50名定員でありまして、令和6年度が大体20数名ということで過半数に達していないような状況です。最初は多くの参加をいただいたんですけど、どうしても徐々に減少しています。

【山田委員】 10回やったということですよ。1回目、2回目とかはやっぱり50人。

【事務局（武市）】 そうですね、本当に多くの方に受講していただいたんですけども、だんだん減っていったような状況です。

【小野会長】 よろしいでしょうか。

（挙手する者なし）

それでは、次の議題の4に行きます。

市指定天然記念物「小牧小学校校庭のクロマツ」について事務局の説明を求めます。

【事務局（浅野）】 それでは、議題(4)市指定天然記念物「小牧小学校校庭のクロマツ」についてご説明させていただきます。

資料4をご覧ください。

既にメールでは委員の皆様方に一報を入れさせていただいておりますけれども、昨年、令和7年12月12日金曜日、午後2時半頃に小牧市の指定天然記念物であります小牧小学校校庭のクロマツ3本のうち、西側の1本が地際から倒木いたしましたので、その状況をまず報告させていただきます。

この12月12日に倒木した時間帯には、小学4年生の1クラスが運動場で体育の授業中でしたが、幸い人的・物的被害はございませんでした。

学校からの一報を受けまして、同日午後3時頃、私ども文化財課職員が現地を訪れたところ、小学校のカラーコーンとトラバーで近くに立ち入らないよう囲いがしてある状況でございました。

翌12月13日土曜日、14日日曜日には、倒木した西側松の撤去及び仮支柱を追加いたしました。16日の火曜日には松の周囲を工事用フェンスで囲っております。

資料3ページをご覧ください。

3ページが令和7年12月16日付で小牧小学校より提出いたしました滅失・き損等届でございます。

資料の5ページをご覧ください。

5 ページの上段が倒木直後の様子でございます。カラーコーンとバーで囲った状況になります。

下段になりますが、下段に倒れた松の地際の写真を添付しております。幹の内部が空洞化し、また幹周囲に残った部分も部分的に腐朽している状況が現地で確認ができました。

次の6 ページをご覧ください。

6 ページが工事用フェンスで松を囲ったときの状況の写真でございます。万が一残りの2本が倒木した際にも人的被害が及ばないよう、運動場の松の南側になりますが、バスケットボールコートも含めて広く囲っております。現状の状況でございます。

すみません、1 ページにお戻りください。

資料4、1 ページですが、この「小牧小学校校庭のクロマツ」の病虫害防除、あるいは施肥、剪定を行っております業者の樹木医のほうに、今回西側のマツが倒木した原因、それから残り2本の松の現状について調査を依頼しております。そうしたところ次のような回答を得ております。

まず1 としまして、倒木の原因であります。

当日の12月12日の北からの強い風や、最下部の心材が腐朽し空洞化していることが倒木の主な原因と考えるが、校舎の建て替えなど松の周辺環境が変化したことや運動場のスペースの問題から、松を支えるのに最適な位置である南側に支柱を地中に設置できないことなども倒木した要因の一つと考えられるというようなお話でありました。

2 としまして、残る2本の松の状態についても確認しております。

まず説明としては、倒木した松と同様に2本とも幹は中空になっており、腐朽は進行している。また、倒木を防ぐために現状の支柱よりかなり高い位置に支柱を設置することが必要であると。しかしながら、スペースの問題により現実的には不可能。また、現状のままでは今後、強風によっては支柱の横木を支える横木の支点到幹が折れることも予想されるというお話でした。

2 点目としまして、東側の松、校舎に近いほうですが、こちらの松は3本の松のうちでも最も健康状態が悪く、根も東側の太い根が校舎建て替えの際に切られ、南側にも根がないため、校舎側または南側に倒れる可能性を否定できない。

3 つ目、中の松ですが、こちらも幹の最下部の北から西側が腐朽・空洞化し、また根は東から南、南東側のみであり、西から南側方向へ倒れる可能性が否定できないというような回答を得られております。

なお、この小牧小学校校庭のクロマツにつきましては、令和6年度に公益社団法人愛知県緑化推進委員会の事業としまして、ふるさと樹木診断が行われております。診

断調書を資料7ページ以降に添付しております。7ページ以降がふるさと樹木診断調書になります。

次のページ、8ページをお願いします。

8ページ中段に現況とございます。この現況の中には、「雄大に伸びた樹形であるが、打音異常がどの幹にもみられ、幹が中空になっている。支持力のある外周部が薄くなったことを示している。地際部の樹皮欠損（支持力喪失）は、西の松で31%、中の松で55%と異常に大きい」と記されております。

また、資料のほうの10ページの下段のほうに診断書の診断したときの写真が載っておりますが、こちらのほうでもそれぞれの松の地際部の欠損や腐朽の状況が示されています。令和6年度の時点でも幹の中が中空化している、あるいは地際部分が欠損しているというようなことで評価をされております。

11ページをお願いします。

このような以上のような状況を鑑みまして、小牧市教育委員会と小牧小学校とで協議を行った結果、令和8年2月6日付でクロマツを管理する小牧小学校長より、市指定天然記念物の指定の解除の申出が小牧市教育委員会宛てに提出されております。

指定の解除を求める理由につきましては、小牧小学校校庭のクロマツ3本のうち西側の1本が根元から倒木し、残り2本の松も地際部の欠損や幹内部の空洞化が進んでおり、倒木する可能性があり、児童の安全のためには伐採せざるを得ない状況のためであります。

この指定解除の申出を受けまして、続きまして資料13ページでございますが、本日の会議ですが、小牧市教育委員会より、小牧市文化財保護条例第41条の規定に基づきまして、本会議に意見を求めるということで諮問がされております。

参考といたしまして、最後、資料14ページには、小牧小学校校庭のクロマツに係る小牧市文化財指定調書を添付してございます。

議題(4)市指定天然記念物「小牧小学校校庭のクロマツ」についての説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

【小野会長】 ありがとうございます。

それでは、今の内容につきましてご意見、ご質問があればお願いいたします。いかがでしょうか。

【山田委員】 すみません、基本的なことを教えてください。

小牧市の指定されている天然記念物の樹木というのはどれくらいあるんですか。

【事務局（浅野）】 現在、市の指定になっている天然記念物は、クロマツを含めて4件ございます。

【山田委員】 4件のうちの1件ということなんですね、今回のが。クロマツというのは珍しいんですか、つまり小牧にとって。

【事務局（浅野）】 特にクロマツ自体が珍しい、小牧にとってということではございませんが、資料の一番最後、14ページの指定調書にもございますように、この小牧小学校の、以前は南宮社という社叢の一部であったんですけども、その部分に残っていた松、それが長い間学校が保護してきたということで、多くの児童、あるいは先生方を見守ってきたというところで古くから小牧の三本松というふうに親しまれてきたというような由来に基づきまして、小牧の歴史としては貴重なものということで指定をされております。以上です。

【兼子委員】 すみません、いいですか。私、小牧小学校出身なんですけど、大変悲しい思いで聞かせてもらったんですけど、この切ってしまった木は、何か残すとかそういう方向はないですか。例えば本庄小学校だと、前任校なんですけど、本庄の大杉というのが昔あって、それが折れちゃったものの一部が玄関に飾ってあるんです。その作った板にいわれがずっと書いてあって残っているんですね。そういうふうに残していただくとか、そういうことはできないかなあと思うんですけど、ご検討ください。

【事務局（浅野）】 今ですね、学校のほうからもそのようなご要望のほうをいただいております、実際その作業というのをやるのは学校のほうになるかと思うんですが、幹につきましては先ほどご説明していますように、中が空洞化しております腐朽もしているということで、よくある、切って年輪を見せるような加工はなかなか難しいと聞いております。ただ、例えば松ぼっくりですとか一部残っているものを使って、何らかの形で学校のほうに三本松があったよということは残していきたいということと、また今現在、学校のほうでもちょっと準備を進めておりますが、この松の世代交代ということで、今ある松からそれぞれ松ぼっくりから種を取りまして、実は子供さんたちがそれを植えて発芽して植え替えようというようなプロジェクトも学校のほうでは今進めておるといことはお聞きしておりますので、今後はそういった形で新しい三本松が今後この小牧小学校の児童さんたちを見守るような形で継続していけ

たらなというふうには考えております。以上です。

【小野会長】 ありがとうございます。

【藤堂委員】 村松さん、どのぐらい、これ樹齢は。

【村松委員】 いや、見ただけでは。

【山田委員】 今見たら、1909年に何か南宮社跡に校舎が建てられたときの写真によると明治の初め頃芽生えた松と推定されると書いてあるんで、だから120年かそこらですよ。

【藤堂委員】 それであれだけ大きくなるんですか。

今、浅野さんからいい話を聞きましたけど、実は小牧は江戸時代に、駒止公園ってありますよね、駅の。あの辺だと思うんですけど、大きな一本松があつてね、それが旅人の目印だったんです、小牧へ来るときのね。その松が見えると、ああ小牧が近くなったなあという、そういう象徴する松だったみたいです。だから、ぜひ今、何か松ぼっくりから新しいと言われましたけど、100年でそれだけ大きくなるなら、ぜひまたそれを3代目か4代目か分かりませんが、育てる手だてをして、小牧の松ということで大事にしてもらおうといいと思うんですけど。

【小野会長】 小牧で一番古い松だったんですかね、今回の。

【村松委員】 いや、もっと古いのはあると思いますけどね、結構あるから。さっき言われたように記念として、まあ幹の空洞になっているけれども、その空洞みたいなのをそのまま残しておくのも意味があるかなと思いますけど。何か別に加工しなくてもいいのでね、こんな松がここにあったよということを記念に残しておくだけでもいい感じはしますね。

【小野会長】 はい、分かりました。

そうしますと、今残っている2本ももう空洞化してきているということで、指定の解除はやむを得ないかなというところでよろしいでしょうか。

【中嶋委員】 風速15メートルで倒れちゃったんですね、決して強い風じゃないですね。伊勢湾台風だと50何メートルありますから。

【山田委員】 だからお話ししているように、倒れたものを上手に記念として残しておくということが条件として感じますね。

【小野会長】 そうですね、何らかの形で残してほしいということで指定解除はやむを得ない、適当であるということでよろしいでしょうか。

(挙手する者なし)

【事務局（浅野）】 はい、ありがとうございます。

それでは、本審議会からの答申の案ということでございますので、新しい資料のほうをお配りさせていただきます。

(答申案 配付)

今お配りさせていただきましたのが保護審議会から答申の案となります。令和8年2月9日付、7小教文第1337号で小牧市教育委員会に諮問のありました小牧市文化財保護条例に基づく指定の解除についての答申といたしまして、2. 審議の結果に記載のとおり、上記の物件については指定を解除することが適当と認めますとさせていただきます。その理由につきましてですが、ご審議いただきたいんですが、案としまして、残り2本の松についても、地際部の欠損や幹内部の腐朽・空洞化が進んでおり、倒木により人的物・的被害が生じるおそれがあるため、というような理由を付しまして答申とさせていただきますと思っております。ご審議のほどよろしく願いいたします。

【小野会長】 皆様、いかがでしょうか。今の理由につきまして、これでよろしいでしょうか。

【中嶋委員】 先ほど、なお書きで要望も書くというご意見ありましたよね。それが含んでないので、その辺りを入れていただきたいと思いますが。

【小野会長】 今のは解除理由なので、解除理由としてはいいかと。それで、要望として。

【中嶋委員】 いや、どうなんですかね、審議の結果と上記の物件については指定を解除するが適当と思います。なお、何とか何とか何とかです、理由は今の言われたとおりでいいと思います。なお書きでちょっと入れたらいいんじゃないかと。

【山田委員】 まあ、この解除文書に関してはちょっと違うような気がするんですけどね。

【小野会長】 解除文書にはちょっと入れられないか分からないですけど、こちらとしては、それがもうなかったかのように消えているんじゃないかと、その伐採した木も何か一部にするとか、あるいは何かに形を変えて残るとか、何か活用してほしいという気持ちがありますので、そういう要望として、入れられるなら、なお書きで入れていただき、この文書に入れられないのであれば、またほかで強く言っていただきたいというところです。

【事務局（武市）】 それでは、今のことにつきましては、またこちらのほうで案を作成しまして委員長に確認をしていただいた上で最終決定をさせていただくということとよろしいでしょうか。お願いします。

【村松委員】 1つ、クロマツですけど、これ本数は書かなくてもいいんですか。

【事務局（浅野）】 クロマツは、本数は確かに3本ございますが、指定名称といたしましては「小牧小学校校庭のクロマツ」ということで、3樹とかいう記載はございませんので、今回は案には記載しないと思っております。

【小野会長】 それでは、先ほど読み上げていただいたところなんですが、私からもう一度申し上げます。「残り2本の松についても、地際部の欠損や幹内部の腐朽・空洞化が進んでおり、倒木により人的・物的被害が生じるおそれがあるため」と記載していただきまして、小牧市教育委員会宛て答申する事務をお願いできればと思います。

【中嶋委員】 すみません、1本が倒木したということも書かないと駄目なんですよ、指定を解除する理由として。1本が倒木して、残りの2本も倒木する危険があるから解除しますという、そういう書き方をしないと。

【小野会長】 そのほうが本当は親切ですね、残りの松についてもということで、1本の倒木の記載が一言欲しかったですね。

【事務局（浅野）】 こちらはご審議いただきましたとおり、まずは1本が倒木したという記載、それから残り2本の松についてもということ併せまして、先ほども部長申しましたように、会長のほうと詰めまして、理由もそういうふうにさせていただきたいと思っております。

こういった形で、小牧市教育委員会宛ての答申をする事務として進めさせていただきます。

続きまして、今回の小牧市指定文化財の指定の解除の申出に対する今後のスケジュールについて若干説明をさせていただきます。

本日の結果を受けまして、教育委員会宛てに答申を行わせていただきまして、小牧市長職務代理者と協議の上、令和8年2月16日月曜日開催の定例教育委員会で審議を行った後、指定解除という流れになります。

その後、公示を行いまして、今のところの予定ですが、3月下旬の春休み中には伐採という流れを予定しております。以上です。

【小野会長】 それでは、次第の4. その他ですね、何かございますでしょうか。委員の先生方から何か報告、連絡などありませんでしょうか。その他はよろしかったでしょうか。

(挙手する者なし)

それでは、事務局のほうからは、何か報告、連絡などはありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日の議題の審議が終了しましたので、進行を事務局へお返しいたします。

【事務局（武市）】 小野会長、委員の皆様、長時間にわたるご審議ありがとうございました。

以上をもちまして、本日の議事日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、令和7年度第2回小牧市文化財保護審議会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

今日の審議をいただきました新しい基本計画についてですけれども、冒頭説明させていただきましたように、来年度が具体的に新しい計画を策定していく年になります。

ので、来年度のこの保護審議会の中でも再度見ていただく機会があると思っておりますので、また何かお気づきの点がございましたら事務局のほうまでお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。